

何が進み、何が残ったか

～同和対策審議会答申50年の成果と課題

同和対策審議会答申から来年で50年となります。この間、同和問題解決に向けての環境改善の進展や進学率の向上など「何が進んだか」を振り返るとともに、「何が残ったのか」を挙げ、今後の取組の課題についてお話いただきます。

講師

西日本新聞企画委員

ば ば しゅう い ち ろ う

馬場 周一郎 さん



福岡県出身、1972年西日本新聞社(本社・福岡市)に新聞記者として入社。社会部記者として同和問題をはじめとする差別と人権問題の取材に取り組む。現在、西日本新聞企画委員、福岡県同和人権問題講師団講師。著書に『現代の部落差別』(解放出版社、共著)など。

とき

11月19日(水)

午後1時30分～3時

ところ

ハワイアロハホール

大ホール

(湯梨浜町はわい長瀬584)

入場無料・事前申込不要



お問合せ
連絡先

鳥取県 総務部 人権局 人権・同和対策課

電話0857-26-7073、FAX0857-26-8138、電子メール jinken@pref.tottori.jp

※手話通訳、要約筆記を行います。

※託児をご希望の方は、11月13日(木)までに上記連絡先までお申し込みください。

■主催…鳥取県、鳥取県同和対策協議会

■共催…倉吉市、湯梨浜町、倉吉市同和対策推進協議会、東伯郡同和対策協議会